創立65周年に際しての歩みと願望

会長　本多啓七

前会長の小林先生が富山大学を退官され、神奈川県へ居を移されたので、後任の会長として浅学非才の不肖私が努めることになりました。今までも長い間副会長として会長補佐の役を努め、事務局を私宅に置き、本多省三を事務局長として16年間にわたって事務関係の業務に携わってきました。この間の諸行事を思い出し特に野外研修のことが夢のように甦ってきます。この5年間でも県内では尖山、21世紀の森、高峰山、三千坊、増山城趾、松倉城趾、医王山など、また県外では風吹山、三方五湖、米山など、さらに国外ではアラスカ、シルクロードなどと広い視野でよく歩き生物的な観察を行いながら見聞を高めてきました。

初代会長の菊池先生がよく云われたことは「君たちが学会の世話をやってくれるのでこの学会が続いているが、他では地方学会は終戦と同時に大方なくなっている。」とのことでした。次に昭和52年に頂いた先生の便りの一端を掲載して当時を偲びたいと思います。「-----富山県生物学会も貴兄等によって持続されると思います。創始は易し保持は難し。本当に有難うございます。-----」と書いて下さいました。今もこのお気持に対し感謝しています。私も学会のためなら身を粉にしてでも働き、永続と発展を願っているのですが年には勝てません。いよいよ80才の高齢を迎えようとしています。しかも北アルプスの連山を我が庭のように歩き続けた健脚も今では杖にすがるようなざまになりました。当生物学会も若い会員によって盛り上ることを念じています。

私の信条としてはこの生物学会の伝統ある輝しい歴史の法燈を消してはならない。何時かの日には必ず創業時代に匹敵する、いやそれよりももっと大きな世界的な羽ばたきの時代が来ると信じてこの生物学会を守り続けてきました。

今後この生物学会に活力を与え、さらに盛り上げる為には若い会員の多数による力が必要です。現在存亡の危機に立っている山村衰退の状況によく似ています。私はこの生物学会こそ富山大学によって復活させて頂きたいと願うもので、現在富山県地学会のように会長と事務局を富山大学に引き受けて頂き、新しい時代の生物学会に育てて頂くことを願望するものであります。

当生物学会の創立65周年の節目に当り発足当時の基本精神にもとずき一層の発展と拡大を祈念するものであります。

学会活動一覧表（昭和５１年～平成３年）

年度	学会の活動	会長	事務局	備考
S.51	会誌第16～17号発刊（創設50周年記念特集）	小林貞作	本多啓七宅	創設50周年記念大会（日本植物学会全国富山大会の開催）
S.52	会誌第18号発刊			
S.53	会誌第19号発刊			
S.54	会誌第20号発刊		事務局長 本多省三	故 菊池勘左エ門先生追悼号
S.55 56	会誌第21～22号発刊			
S.57	会誌第23号発刊			
S.58	会誌第24号発刊			
S.59	会誌第25号発刊			故 進野久五郎先生追悼号
S.60	会誌第26号発刊			
S.61	会誌第27号発刊			創設60周年記念大会
S.62	会誌第28号発刊			
S.63	会誌第29号発刊			
H. 1	会誌第30号発刊	本多啓七		
H. 2	会誌第31号発刊			創設65周年記念大会

５年間の学会誌記載項目一覧

（国際標準逐次刊行物登録番号 ＩＳＳＮ ０３８９－７４９４）

1. **第２７号** 創設６０周年記念特集（昭和６２年３月）
巻　頭　言　小林貞作
特別寄稿　越中の野生鳥獣　植木忠夫　1
創設６０周年の歩み　本多啓七　3
１０年間学会誌記載項目一覧　4
創設６０周年記念大会　本多省三　10
随　想
ア．〝生命〟についての一所見　米田　豊　12
イ．人の情けに感激の一年　坂下栄作　13
研究発表
ア．富山県で発見されたホクリクサンショウウオ　南部久男　15
イ．双翅類の訪花植物Ｉ（ハナアブ科）　田中忠次　20
ウ．鴨川の淡水魚　佐藤久三　39
エ．シルクロードの自然と人　本多省三　47
オ．富山県におけるキジムシロ群植物３種（キジムシロ、エチゴキジムシロ、エチゴツルキジムシロ）の分布と葉の形態変異　佐藤　卓　53
カ．氷見北部神社林のシダ植物　中川定一　72
キ．世界の果物印象記　本多啓七　75
ク．コンピューターを使った手軽な標本整理　太田道人　76
ケ．タンポポの研究　藺生弘美　84
コ．富山県内のヒカリゴケ生育地９箇所－その概要　山岡正尾　91
サ．世界のガキ田分布とその生態　本多省三　100
本多啓七
本会記事　128
編集後記　129

2. **第２８号**（昭和６３年３月）
巻　頭　言　小林貞作

研 究 発 表
1. 片貝川南又谷の水生昆虫 川添憲三 1
2. 人工物に営巣したイワツバメの造巣能力 大田保文 14
3. 双翅類の訪花植物Ⅱ 田中忠次 18
4. 富山県におけるコモチシダの北限について 本瀬晴雄 40
5. スダジイの林を訪ねる 中川定一 48
6. 安房峠周辺にみられる針葉植林の2林分
（コメツガ林、カラマツ林）について 佐藤 卓 61
7. 全国および富山県の巨樹・名木とその特性 本多啓七 67
本 会 記 事 95
編 集 後 記 96

3. 第29号 （平成元年3月）
巻 頭 言 本多啓七
研 究 発 表
1. 巨木の所在とその特性 本多啓七 1
2. 富山県のトリカブト属標本 太田道人 39
3. 二上山にみられるブナ林について 佐藤 卓 47
4. イノデ－タブノキ群集の北限地域をたずねて 本瀬晴雄 53
5. キツリフネの白花品について 本瀬 薫 55
6. 黒部峡谷祖母谷周辺におけるノリウツギに訪花した昆虫 田中忠次 56
7. 白岩川山地渓流の水生昆虫 川添憲三 58
8. 音に反応して鳴くすずめ（Passer montanus） 大田保文 64
本 会 記 事 72
編 集 後 記 73

4. 第30号 （平成2年3月）
巻 頭 言 本多啓七
研 究 発 表
1. 食糧植物と文化植物の変遷と将来 本多啓七 1
2. 日本海沿岸（福井県～秋田県）の
タブノキの呼称とその語源について 本瀬晴雄 37

3. 氷見市朝日神社、スダジイ林の森林構造 佐藤 卓 41
4. 御嶽及び立山の環周地帯にみられるヒカリゴケの分布 山岡正尾 48
5. 小型ゲージ内におけるスズメの繁殖能力 大田保文 63
6. ミチバチの訪花植物 田中忠次 68
7. 白岩川山地渓流の水生昆虫 川添憲三 82
8. 宇奈月のサル－今、サルと人間の共存を求めて－ 若林一成 87
9. 木山周辺の野外研修会 若林一成 89
本 会 記 事 94
編 集 後 記 95

5. 第31号 （平成3年3月）
巻 頭 言 本多啓七
創設65周年に対しての歩みと願望 本多啓七
5年間の学会誌記載項目一覧
創立65周年記念大会 本多省三
故植木忠夫先生を偲ぶ
1. 故植木忠夫先生に期待した本学会の将来 本多啓七
2. 故植木忠夫先生の思い出 田中忠次
3. 思慕 植木忠夫先生 山岡正尾
4. 植木先生に学んだ頃 本崎正富
故坂下栄作先生を偲ぶ
1. 故坂下栄作先生の本学会と生物研究に対する執念 本多啓七
2. 別府での思い出 坂下 彰
研 究 発 表
1. 数種昆虫の初見、初鳴日 田中忠次
2. イラガ 田中忠次
3. スズメPasser montanusの雌雄別の糸口を探る 大田保文
4. 富山県沿岸の暖海性貝類 高山茂樹
5. タブノキの北限地域における林相について 本瀬晴雄
6. 地衣類の二次代謝産物の検出 本多省三
7. イチョウ（Gingo biloba L.）の葉の変異性について 佐藤 卓
8. 富山県における里山植生の変遷と将来 本多啓七
本 会 記 事
会 員 名 簿
編 集 後 記